学校番号	1009

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語基礎演習	2	3	五訂版 Workbook for Practice シニアコース 文法・語法演習 入試標準

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、大学入試に出題された問題の演習を通じて、これまで学習した英文法・語法を総復習し、よりしっかりと定着させることを目標としています。授業前に予習を行い、定着していない英文法・語法を把握し、授業で理解していきます。毎回の授業の始めには小テストを行い、知識の定着を図ります。

ただ丸暗記するのではなく英文法の中心となるイメージを理解し、根拠を持って問題を解いたり英文を作ったりする力を身につけましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	この科目では、この領域は扱わない。	・英文全体の要旨を理解するとともに、複雑な部分はていねいに読み、重要な点をもれなく理解できる。 ・300 語程度の小説などを読み、背景、事実関係、登場人物の気持ちなどを把握し、適切な速度や声の調子で音読することができる。 ・読んだ英文の内容に沿って活動（プレゼンテーション、寸劇など）することができる。	・論点の明らかな英文を読み、また、話された英文を聞いて、それぞれのポイントを捉えて、その概要を簡潔に話すことができる。 ・身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	この科目では、この領域は扱わない。	・ 自分のこれまでの経験や身近なトピックについて、序論・本論・結論を意識して、複数の段落から成る説明文を書くことができる。 ・興味・関心のある分野のテーマに関する参考文献やインターネットなどから資料を収集し、その概要や要点を書いてまとめることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基礎的な語彙、英文法、語法、構文などを理解している。 ・第１文型から第５文型までの基礎的な英文の形を理解している。	・短い英文の中で使われている英文法、語法、構文を理解できる。 ・短い日本語を読み、適当な語彙、英文法を用いて英語で表現できる。	・自分が理解できていない英文法、語法、構文を把握している。 ・根拠を持って教員の質問に答えることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	読むこと	a: 基本的な時制の形、助動詞・能動・受動の意味を理解できる。 b: 英文中の時間関係を理解できる。 c: 根拠を持って英文の内容を理解できる。	小テスト 定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 使うべき文型や英文法を、生徒同士で確認し合うことができる。 b: 動詞の形に注意しながら、短い英語を表現できる。 c: 違う語句を用いて英語を表現できる。	ペアワーク
		書くこと	a: 適当な語句を用いて文型を意識し英文を作ることができる。 b: 時間関係を意識して、英文を作ることができる。 c: 根拠を持って論理的に英文を作ることができる。	小テスト 定期考査
	中間考査			
	Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	読むこと	a: 基本的な不定詞と動名詞の違い、分子の役割を理解できる。 b: 動詞の意味から、後ろに不定詞 or 動名詞をとるか理解できる。 c: 根拠を持って英文の内容を理解できる。	小テスト 定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 使うべき文型や英文法を、生徒同士で確認し合うことができる。 b: 動詞の意味に注意し、不定詞・動名詞・分詞を使い分けられる。 c: 違う語句を用いて英語を表現できる。	ペアワーク
		書くこと	a: 適当な語句を用いて文型を意識し英文を作ることができる。 b: 動詞の意味を意識して、英文を作ることができる。 c: 根拠を持って論理的に英文を作ることができる。	小テスト 定期考査
	期末考査			
2	Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10	読むこと	a: 自動詞と他動詞の違い、基礎的な比較の内容を理解できる。 b: 他動詞の語法や比較の語順を理解し、英文の大枠を捉えられる。 c: 根拠を持って英文の内容を理解できる。	小テスト 定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 使うべき文型や英文法を、生徒同士で確認し合うことができる。 b: 他動詞の語法や比較の語順に注意し、短い英語を表現できる。 c: 違う語句を用いて英語を表現できる。	ペアワーク
		書くこと	a: 適当な語句を用いて文型を意識し英文を作ることができる。 b: 他動詞の語法や比較の語順を意識して、英文を作ることができる。 c: 根拠を持って論理的に英文を作ることができる。	小テスト 定期考査
	中間考査			
	Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14	読むこと	a: 基本的な関係詞の用法と、仮定法の語順を理解している。 b: 関係詞節や仮定法の主節などを捉え、英文の内容が理解できる。 c: 根拠を持って英文の内容を理解できる。	小テスト 定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 使うべき文型や英文法を、生徒同士で確認し合うことができる。 b: 関係詞節や仮定法の語順に注意しながら、短い英語を表現できる。 c: 違う語句を用いて英語を表現できる。	ペアワーク
		書くこと	a: 適当な語句を用いて文型を意識し英文を作ることができる。 b: 関係詞節や仮定法の語順を意識して、英文を作ることができる。 c: 根拠を持って論理的に英文を作ることができる。	小テスト 定期考査
	期末考査			
3	Lesson 15 Lesson 16 Lesson 17	読むこと	a: 基本的な名詞と代名詞の使い方や、無生物主語の形を理解できる。 b: 名詞と代名詞の用法、無生物主語を理解し、英文の内容が理解できる。 c: 根拠を持って英文の内容を理解できる。	小テスト 定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 使うべき文型や英文法を、生徒同士で確認し合うことができる。 b: 名詞の用法や無生物主語の語順を意識し、短い英語を表現できる。 c: 違う語句を用いて英語を表現できる。	ペアワーク
		書くこと	a: 適当な語句を用いて文型を意識し英文を作ることができる。 b: 名詞の用法や無生物主語の語順を意識し、英文を作ることができる。 c: 根拠を持って論理的に英文を作ることができる。	小テスト 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度